

現代の国語 単元指導計画

日時	令和〇年〇月〇日(〇)	場所	1年〇組教室
クラス	1年〇組(〇〇人)	授業者	〇〇 〇〇
科目名	現代の国語	単元名	理解編 ―思考力、判断力を培う―
使用教材	「フェアな競争」 (内田 樹)	使用教科書	『高等学校 現代の国語』 第一学習社
教材観	<p>本教材は、現代社会に蔓延るリバタリアンの論理に対して、事実や事例を挙げながら反論し、格差社会の是正の方策を示した文章である。そして、筆者が自身とリバタリアンとの「社会的共通資本」に対する考え方を対比させながら論を展開する構造となっている。また、題名である「フェアな競争」と聞けば、読み手は肯定的なニュアンスを感じる可能性が高いが、本教材を読み深めることで「フェア」という言葉を再度考え直すきっかけにできるものである。</p>		
生徒観	<p>真面目で国語の授業に対して前向きな姿勢である。記述問題に対しても、なるべく書こうとする努力する生徒が多く、その後のペア学習も積極的に行うことができる。ただ、難易度の高い文章になると、なかなかうまく記述できない生徒が増え、本文そのものを読解できないこともある。本単元を通して、正確に論理展開を把握させ、筆者の主張を生徒自身でまとめ、論述できる力を養いたい。そのためにも、文と文、段落と段落とのつながりを意識させたい。また、筆者の挙げた事実や事例を参考にしつつ、生徒自身で調べた事例や事実を基に文章にまとめ発表し合う活動を経て、批判的思考ができる力を磨くとともに、客観的事実を根拠にした生徒自身の意見をもてるようにしたい。</p>		
指導観	<p>本単元では、段落の構成を意識し授業を行う。文と文のつながりを意識するために、接続詞に留意しながら読解を進めたい。また、生徒が本文の構造理解に注力しすぎるあまり、読解をおろそかにしないように留意したい。</p> <p>言語活動として、授業内で学んだ文章の構成を活用してリバタリアンや筆者の主張に対して他の事例に基づき賛否を考え、生徒自身の意見を述べるというテーマで書く活動を設定した。このことによって、今後、生徒が小論文や作文を書く際の文章構成の基礎を作る機会としたい。</p>		

1 単元の目標

- (1) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 [知識及び技能] (2)ア
- (2) 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 [思考力、判断力、表現力等] C(1)ア
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
「学びに向かう力、人間性等」

2 単元の言語活動

本単元の教材で学んだ内容を基に、筆者やリバタリアンに対して他の事実や事例に基づき賛否を考え、生徒自身の考えを論述する。

(関連：[思考力、判断力、表現力等] C(1)ア)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア)	① 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 (C(1)ア)	① 論述文を書くことを通して、自分の考えが相手に的確に伝わるよう、説明の仕方や表現の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。

4 指導と評価の計画（全7時間）

次	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
第1次	○単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ○「フェアな競争」の題名について感じたことを発表する。 ○形式段落のつながりを意識しながら通読する。	[知識・技能] ①	「記述の点検」
第2次	○形式①～⑧段落の読解。	[思考・判断・表現] ①	「記述の分析」
第3次	○形式⑨～⑯段落の読解。	[思考・判断・表現] ①	「記述の分析」
第4次 (2時間)	○形式⑰～⑳段落の読解。	[思考・判断・表現] ①	「記述の分析」
第5次 (2時間)	○段落を要約し、全体の構造図を理解する。 ○段落ごとの役割を把握し、つながりを考える。 ○事実や事例を調べる。 ○論述文を書く。 ○事実や事例と意見の違いを再認識し、論述文を書くにあたり生徒自身がどのように学びを調整したか省察する。 (本時2/2)	[思考・判断・表現] ① [主体的に学習に取り組む態度] ①	「記述の分析」

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ○「フェアな競争」の題名について感じたことを発表する。 ○形式段落のつながりを意識しながら全文を読む。 ○通読した感想について交流する。	・文と文、段落と段落のつながりを意識付けする。 ・ペア活動で意見交流したことを、全体に還元する。	[知識・技能] ① 「記述の点検」学習プリント ・記載内容を点検する。
2	○形式①～⑧段落を読解する。 ○社会的共通資本について理解する。 ○形式段落を要約する。	・キーセンテンスを考えさせる。 ・文と文のつながりを考えさせる。	[思考・判断・表現] ① 「記述の分析」学習プリント ・記載内容を分析する。
3	○形式⑨～⑯段落を読解する。	・キーセンテンスを考え	[思考・判断・表現] ①

	<ul style="list-style-type: none"> ○リバタリアンの主張を理解する。 ○形式段落を要約する。 	<ul style="list-style-type: none"> させる。 ・文と文のつながりを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「記述の分析」学習プリント ・記載内容を分析する。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○形式⑰～㉓段落を読解する。 ○「フェアな競争の」ピットフォールを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーセンテンスを考える。 ・文と文のつながりを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> [思考・判断・表現] ① 「記述の分析」学習プリント ・記載内容を分析する。
5	<ul style="list-style-type: none"> ○形式⑰～㉓段落を読解する。 ○「フェアな競争の」ピットフォールに対する筆者の意見を理解する。 ○筆者の主張を考える。 		<ul style="list-style-type: none"> [思考・判断・表現] ① 「記述の分析」学習プリント ・記載内容を分析する。
6	<ul style="list-style-type: none"> ○構成を把握する。 ○本文の事実や事例に賛否について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形式段落のつながりを意識させながら、本文の構成を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> [思考・判断・表現] ① 「記述の分析」学習プリント ・記載内容を分析する。
7 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ○意見文を書く。 ○振り返りを記入し、生徒自身の学びを省察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の構成に倣い、調べたことを用いて、筆者の意見に対して生徒の意見を論述するよう指示する。 ・ペアで交流し、生徒自身が意見文を書くにあたりどのように学びを調整したかを振り返るよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> [思考・判断・表現] ① 「記述の分析」レポート ・本文を通して学んだ構成、知識、事例、事実を用いた内容になっているか、レポートを分析する。 [主体的に学習に取り組む態度] ① [思考・判断・表現] ① 「記述の分析」振り返りシート ・振り返りシートの内容から、生徒自身の学習を調整しながら相手に伝えるように、説明の仕方や表現の仕方を工夫できたか分析する。

《本授業における評価の実際》

5 観点別学習状況の評価の進め方

共通必修科目「現代の国語」の「内容」の〔思考力・判断力・表現力等〕「C読むこと」に関する指導については、「内容の取扱い」(1)イに「10～20単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること」と示されている。このことを踏まえ、本単元では、「C読むこと」に関する資質・能力を目標として掲げ、単元のまとまりの中でその育成を重点的に図る指導と評価の計画を示している。

(1) [知識・技能] の評価

[知識・技能]①の「主張と論拠など情報と情報との関係について理解している」状況を、「主張と事例の区別、リバタリアンと筆者の主張の違いを正しく理解し読み取っている」姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、ノートや授業プリントへの記述を中心に点検して評価する。

本文の読み取りができていない状況を C と捉え、個別に声をかけて、ヒントとなる本文の記述を示す、語句の意味を隣同士共有するなどし、読み取りを行うよう促す。

(2) [思考・判断・表現] の評価

[思考・判断・表現]①の『読むこと』において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している」状況を、「授業プリントの記述で構造を理解し、筆者の事実や事例について賛否の面を含めて、自分の考えを論述する」姿（「おおむね満足できる状況」(B)）と捉え、論述文の記述を分析し評価する。

論述文で筆者の事実や事例についての賛否の面を書くことができない状況を C と捉え、インターネット等を活用し検索して書くよう促す。

(3) [主体的に学習に取り組む態度] の評価

[主体的に学習に取り組む態度]①の「論述文を書くことを通して、自分の考えが相手に的確に伝わるよう、説明の仕方や表現の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている」状況を、「読解を通して理解した知識や技能を活用して論述している」姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、振り返りシートの記述、自己評価を分析し評価する。

本単元を基にした気づきや学びがまとめられず、努力を要すると判断する状況を C と捉え、振り返りシートの評価項目を参考に、単元を通して気づきや学びがどこかにないか探るよう促す。

6 学習指導案(7時間目/全7時間)

本時の目標：ア. 文章における事実や引用と意見の違いを理解し、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、本文の構成に沿って論作することができる。

[思考力, 判断力, 表現力等] C(1)ア

言語活動：筆者の主張やリバタリアンの主張に対して他の事実や事例を用いて、賛否を考え、生徒自身の考えを論述する。

本時の展開：

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 10分	<input type="checkbox"/> 前時の復習をする。 <input type="checkbox"/> 本時の活動内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 調べた内容を確認する。 本文の構成を確認する。 本文の構成に倣って調べたことを用いて筆者やリバタリアンの主張に対して生徒の意見を論述することを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が引用した事例や事実を再確認させる。
展開 30分	<input checked="" type="checkbox"/> 意見文を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 本文で学習した文と文とのつながりや段落と段落のつながりを意識しつつ、本文の構成に倣って論述する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事実や事例の引用から意見を述べる構成するように指示する。 調べた事実や事例を用いるように指示する。 <p>【本時の目標アに対する評価規準と評価方法】</p> <p>規準：本文の構成を理解し、論述することができる。</p> <p>方法：「記述の分析」(授業プリント、机間指導)</p> <p>[状況Cに対する手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各段落が具体的にどのような構成されていたかを確認するよう促す。
まとめ 10分	<input type="checkbox"/> ペアで読み合い、相手の文章を評価する。 <input type="checkbox"/> 他の構成を紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ペアで文章を読み合い、構成ができているか、事実や事例が適切かなどの確認をする。 他の構成について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の構成を紹介する。